

水稻新品種「えみほころ」について

令和6年2月14日
生産振興課

1 「えみほころ」について

(1) 品種特性

- ・ 出穂期及び成熟期が「彩のきずな」と「彩のかがやき」の間の中晩生。
- ・ 収量は、「彩のきずな」「彩のかがやき」と同等で、高温登熟性は「強～やや強」、食味は「彩のきずな」「彩のかがやき」並み。
- ・ イネ縞葉枯病抵抗性を持ち、倒伏しにくく、栽培しやすい品種。

(2) 品種登録

- ・ 令和4年3月に品種登録出願、同年7月に品種登録出願公表

(3) 奨励品種等への採用

- ・ 令和4年度、認定品種に採用（令和4年度の種苗審議会で諮問・答申）

2 令和5年度の実証

(1) 大規模実証ほ

- ・ J Aほくさい管内（加須市）、J A埼玉みずほ管内（幸手市）に設置
- ・ 令和5年9月1日現地検討会を開催（県、関係農協、生産者が参加）

(2) 種子生産

- ・ 令和5年から一般採種を開始（J Aほくさい、J A埼玉みずほ）

(3) 産地品種銘柄の設定

- ・ 令和5年10月に国へ産地品種銘柄設定の申請。12月に国の意見聴取会が開催。令和5年度内に産地品種銘柄に設定予定。
- ・ 令和6年産から「埼玉県産えみほころ」として農産物検査が可能となる予定。

3 令和6年度の実証予定

(1) 展示ほの設置

- ・ 県内水稻生産者に品種特性の理解を図るため、各農林振興センターで展示ほを設置（合計約13ha）。

(2) 種子生産

- ・ 令和5年産で高温被害を受けた地域について、早急に高温耐性品種である「えみほころ」に切り替えられるよう、採種ほ設置面積の拡大に取り組む。

(3) 奨励品種への区分変更を検討

- ・ 実需者や生産者の意見を参考に、認定品種から奨励品種への区分変更について、種苗審議会に諮問するか検討する。

4 今後の「えみほころ」一般栽培の予定

- ・ 令和6年産：約20ha～30ha
- ・ 令和7年産：約100ha
- ・ 令和8年産：約600ha～1,200ha（現在調整中の採種ほ設置面積により変動）